



チュートリアル課題 まだ歩かない

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	チュートリアル課題
巻	2012
号	B4
発行年	2012-09-03
URL	http://doi.org/10.20780/00031805

2012年度 Block. 4

課 題 No.2

課題名：まだ歩かない

課題作成者：小児科学

舟塚 真



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

近所に住んでいる和雄くんは、1歳8カ月の男の子です。会うとにこっと微笑んで、手を振ってくれます。ただ気になるのは、いつもお母さんにだっこをされているのです。お母さんに聞くと、「まだ歩こうとしないのよ。大丈夫かしら。」と心配していました。

シート2

ある日、医学生である私は、友人のお母さんに頼まれて、少しの間和雄くんの面倒をみることになりました。着替えの時、服を脱がせてみると、上肢に比べて下肢がやや細く、足の蹴り方も弱いように感じました。また泣くと両手足に力が入り、特に下肢は膝をピンと伸ばした状態になり、おむつを替えるのも大変でした。不意に足の裏が床につくと、足首がガクガクと数回けいれん様に動きました。言葉はよく出ていて、「パパ、ママ、ワンワン、マンマ」などの他、「ブーブー、きた」などの簡単な文章も最近出始めているようです。積み木で遊ぶのが大好きですが、積み重ねるのはやや苦手なようです。「オムツを取ってきて」と頼むと、ハイハイをして取りにいてくれました。

シート3

心配になったお母さんは、和雄くんを病院に連れていき診察してもらいました。実は、今までの乳児健診の時にも、その度に診察を受けるようにと勧められていたようです。先生は診察の後、幾つかの検査を受けるように勧めました。後日、頭部MRI検査を受け、その結果をお母さんは聞きました。先生は、脳から足に行く神経がどのように走っているかを図に書きながら、脳の中にある水分の入った部屋の周囲に異常があり、その為に足の動きが悪いこと、未熟児で生まれたことが原因のひとつであること、などを説明されたとのことでした。

シート4

診断を受けてしばらくは、泣いてばかりいたお母さんでしたが、最近は元気になって「障害をもつ子の親の会」に参加するようになりました。そこには和雄くんよりも、もっと重症のお子さんがたくさんいて、喉やお腹に穴が空いて管が通っている子や、鼻にチューブが入っている子、コルセットを巻いている子などがいました。お母さんはどうして、このようなことをしているのか、和雄くんにも必要なのか、と心配になりました。先生は、和雄くんには心配のないこと、いずれ歩けるようになると思うが、爪先立ちで歩く可能性があり、この場合には、最近では、筋肉注射でよくすることができること、などを丁寧に説明してくれたとのことでした。